

TECHNICAL INFORMATION  
TOKO SANGYO Co.,LTD

ハイシーラー  
SUシーラントQUICK NB  
技術資料

### 1. はじめに

ハイシーラーSUシーラントQUICK NBは、中モジュラスの1成分形ポリウレタン系速乾性シーリング材です。表面の硬化が早く、また深部の硬化性に優れています。防水下地処理用シールに適しています。

### 2. 特徴

- 表面の硬化が早くかつ深部の硬化性に優れ、工期の短縮に貢献します。
- 広範囲の材料への接着が良好です。
- 硬化後は塗膜防水・シート防水の施工が可能です。
- 厚生労働省の指針値策定(2002年1月22日現在)の[シックハウス13揮発性有機化合物(VOC)]を使用しておりません。

### 3. 用途

- 防水下地の不陸調整。
- ドレン、パイプ、脱気筒周りのシール。
- 防水シートの端末の押さえ。
- 一般建築物のクラック補修。

### 4. 性状・性能

#### 一般性状

項目	単位	値	測定方法
外観		ペースト状	目視
粘度	(x万mPa・s/10rpm)	25	BS型回転粘度計・R7・2分値
Ti値	2/10(rpm)	3.5	BS型回転粘度計・R7・2分値
比重		1.46	カップ式(東郊法)
指触乾燥時間	分(23℃・50%RH)	60	JIS A 1439-2016
スランプ	mm(50℃縦)	0	JIS A 1439-2016
不揮発分	%	90	110℃×3時間

#### 硬化物性

硬度(ダンベル状、5秒値)	ShoreA	25
60%引張強度*	N/mm <sup>2</sup>	0.25
最大引張強度*	N/mm <sup>2</sup>	0.50
破断時伸び*	%	250

\*JIS A 1439に準拠  
数値は代表値です

# TECHNICAL INFORMATION

## TOKO SANGYO Co.,LTD

### 指触乾燥時間及び硬化深度

	恒温室 (23℃・50%RH)							
	指触乾燥時間(分)	硬化深度 (mm)						
		2時間	4時間	6時間	12時間	24時間	48時間	72時間
SUシーラントQUICK NB 夏タイプ	70	0.20	0.50	1.10	2.60	4.55	7.35	9.30
SUシーラントQUICK NB 春・秋タイプ	60	0.30	0.75	1.40	2.70	4.50	7.65	9.25
SUシーラントQUICK NB 冬タイプ	50	0.45	1.00	1.45	2.65	4.60	7.40	9.50
ウレタン速乾系 他社A(季別不明)	30	1.10	2.10	2.40	3.40	4.80	6.40	7.95
	恒温器 (35℃)							
	指触乾燥時間(分)	硬化深度 (mm)						
		2時間	4時間	6時間	12時間	24時間	48時間	72時間
SUシーラントQUICK NB 夏タイプ	95	—	0.15	0.65	2.30	3.80	6.10	7.80
SUシーラントQUICK NB 春・秋タイプ	70	0.25	0.65	1.10	2.65	3.95	6.10	8.00
SUシーラントQUICK NB 冬タイプ	60	0.40	0.90	1.35	2.80	3.85	6.25	8.10
ウレタン速乾系 他社A(季別不明)	20	1.20	1.80	2.05	3.00	4.10	5.60	7.00
	冷蔵庫 (5℃)							
	指触乾燥時間(分)	硬化深度 (mm)						
		2時間	4時間	6時間	12時間	24時間	48時間	72時間
SUシーラントQUICK NB 夏タイプ	100	—	0.25	0.40	0.75	2.35	4.50	6.40
SUシーラントQUICK NB 春・秋タイプ	90	0.15	0.25	0.50	1.35	2.80	4.80	6.60
SUシーラントQUICK NB 冬タイプ	70	0.20	0.25	0.85	1.45	3.20	4.90	6.55
ウレタン速乾系 他社A(季別不明)	40	—	0.20	0.30	1.35	3.35	4.80	5.75

※試験方法 硬化深度：金属製容器（内径:46mm/深さ:12mm）に試料を充填する。  
2時間、4時間、6時間、12時間、24時間、48時間、72時間後の硬化厚みをノギスを使用して測定する。  
硬化深度の [—] ……確かに硬化皮膜有るも柔らかく、崩れて測定不可

株式会社 東郊産業

〒505-0102 岐阜県可児郡御嵩町前沢字日蔭前4475番地  
TEL : 0574-67-0110 FAX : 0574-67-5831  
<http://tokosangyo.com/>

### 5. 注意事項

- 必ず保護手袋・保護メガネ・保護マスクを着用して下さい。
- 作業後は手洗い、うがいを充分に行って下さい。
- 皮フに付着した場合にはすぐに拭き取り、石ケン水で洗い落として下さい。
- 皮膚に触れないよう注意し、必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 目に入った場合は直ちに流水で洗い流してから医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は早急に医師の診断を受けて下さい。
- 幼児、子供の手の届かない、直射日光や雨の当たらない冷暗所に保管して下さい。
- 作業場所は充分に換気して下さい。
- ポリエチレン、ポリプロピレン、フッ素樹脂、軟質塩化ビニール、ナイロン、ゴムなどには接着しません。
- ポリウレタン系シーリング材はアルコールとの反応により硬化不良を起こします。変成シリコン系シーリング材等のアルコールを発生させる材料やアルコール混入溶剤との同時使用は避けて下さい。
- ガラス、アクリル板、ポリカーボネート板には使用しないで下さい。
- ガラス目地や金属間目地又は露出目地には使用しないで下さい。
- 給水用の塩ビ管などには使用しないで下さい。
- 各種防水材メーカーの標準工法・施工手順に従って下さい。
- 被着体が極めて高温の場合は、発泡する事がありますので、事前にご確認下さい。
- 多湿(結露)時や低温時(5℃以下)、または異常に高温な場合は、不具合が発生する恐れがありますので施工は避けて下さい。
- 防水下地処理材として施工する場合は、塗布厚みは2mm以上とり、硬化後すぐに防水材などを塗布して下さい。
- 油性系塗料、フタル酸(アルキド樹脂)系塗料が掛かる部位には使用しないで下さい。
- 施工後の塗装は1日空けてから、7日以内に行ってください。(23℃・50%RHの場合)
- 1mm以下の施工部は紫外線による不具合が発生するため、施工する際は薄層部が残らないように施工して下さい。
- 施工目地部分の外周部などで厚みが1mm以下の薄層部への塗装は避けて下さい。
- 施工環境は「JASS8(防水工事)」や「建設工事管理指針」に準拠して下さい。
- 本来のシーリング用途以外には使用しないで下さい。
- 本製品は使用方法・使用条件によっては本来の性能を発揮できない場合がありますので、必ず事前にご確認下さい。
- 環境への放出を避けて下さい。漏出物は回収して下さい。
- 取り扱う前に、必ず安全データシート(SDS)を入手し、よく読んで理解して下さい。

[2017.08]

株式会社 東郊産業

〒505-0102 岐阜県可児郡御嵩町前沢字日蔭前4475番地

TEL : 0574-67-0110 FAX : 0574-67-5831

<http://tokosangyo.com/>